

# 第192回医療情報システム研究会 看護業務を支援する情報システム 「看護のDX（デジタルトランスフォーメーション）」

～ コロナ禍を乗り越え、新しい時代に適応するための変革 ～

パート  
35

日時

2022年 2月 5日



10:00～16:40

開催形態

オンラインセミナー



▶ 参加費：2,000円

『医療情報技師更新』

1 ポイント(予定)

※プログラムは、都合により変更となる場合があります。正式案内は12月中旬を予定しています。

## ～イントロダクション～

DXとはなにか ～DXが拓くHOSPITALITY～

富士通Japan株式会社 エバンジェリスト 岩津 聖二

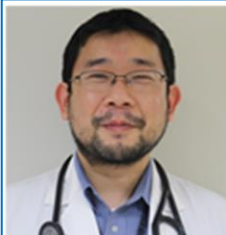
第  
I  
部

## デジタルによる看護教育・臨床教育の変革

Withコロナ時代の遠隔教育を活用した看護教育  
～看護基礎教育と院内研修の実践～  
コロナ禍での院内教育～ここまで出来たオンライン教育の実践～

[兵庫県立大学 看護学部 高見 美樹]  
[医誠会 看護研修センター 高島 真美]  
[神戸市立医療センター中央市民病院 田中 真咲]

特別  
講演  
①



## 新型コロナウイルス感染症と感染対策

大阪大学 大学院医学系研究科教授 忽那 賢志

2004年山口大学医学部を卒業後、救急医療などの現場で経験を積み、その後、感染症を専門とするようになる。2009年から奈良県立医科大学感染症センターで研修し、2010年には市立奈良病院で勤務。2012年より国立国際医療研究センター国際感染症センターに勤務。2021年7月より現職。

特別  
講演  
②



## コロナで急増する医療機関へのサイバー攻撃 ～実態とその対応～

国立国際医療研究センター 医療情報基盤センター長 美代 賢吾

1998年に東京大学医学部附属病院中央医療情報部に助手として採用。その後、神戸大学医学部附属病院医療情報部副部長、東京大学医学部附属病院企画情報運営部部長を経て、2015年から国立国際医療研究センター医療情報基盤センター長。一般財団法人医療情報システム開発センターにおいて、医療分野のプライバシーマーク審査委員会委員長を務める。博士（医学）（東京大学）

第  
II  
部

## デジタルによる看護業務の変革

音声入力による記録時間の削減 -ナースハッピープロジェクトの取り組み-  
RPAを看護マネジメントに活用する  
AIを活用した看護業務量の可視化  
バーコード/RF-IDの利活用  
【参加型徹底討論】 デジタルによる看護業務の変革

[聖マリアンナ医科大学病院 藤野 智子]  
[NTT東日本関東病院 相馬 泰子]  
[東京医科歯科大学病院 岡林 紀恵]  
[名古屋大学医学部附属病院 山下 暁土]  
[演者様&プログラム委員&参加者の皆さま]

【問い合わせ】 06-6920-5629

(E-Mail) [contact-hug@cs.jp.fujitsu.com](mailto:contact-hug@cs.jp.fujitsu.com)

(事務局) 富士通Japan株式会社 澤村、磯貝、高木、國定

【プログラム委員長】 美代 賢吾

(国立国際医療研究センター 医療情報基盤センター長)

※正式案内状ご希望の方は、事務局☎まで※

【主催】 医療情報システム研究会 <http://www.iry-jyoho.jp/>

医療情報システム研究会

